

愛知登文会ニュース

第10号

平成27年2月9日号

1 事業実施報告「愛知登文会特別公開事業」(2014年度)

平成27年10月26日、11月3日、11月9日の3日間、3地域にわけて、県内37カ所の登録有形文化財の建物を公開するとともに、専門家や所有者による建物解説(一部除く)を実施しました。3日間で建物解説には延べ800名の方にご参加いただき、建物見学のみも合わせると延べ約3,000名の方々に足を運んでいただきました。ご支援ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

以下の登録有形文化財(全37カ所)で実施しました!

10/26(日) 尾張地方

犬山市……
旧磯部家住宅/旧堀部家住宅/
大島家住宅茶室/川村家住宅/
尾関家住宅/寂光院/
旧加茂郡銀行羽黒支店/
吉野家住宅/
明治村(森鷗外・夏目漱石住宅/学習院長官舎/北里研究所本館・医学館)
清須市……柴田家住宅
一宮市……旧湊屋

11/3(月・祝) 名古屋

東区……
名古屋陶磁器会館/建中寺徳興殿/
日本福音ルーテル復活教会/
徳川美術館本館・南収蔵庫/
東海学園講堂/金城学院栄光館
カトリック主税町教会
中区……名古屋テレビ塔
中村区……寛家住宅
瑞穂区……名古屋市東山荘
緑区……中濱家住宅/棚橋家住宅

11/9(日) 三河地方他

岡崎市……
八丁味噌本社事務所/岡崎信用金庫資料館/
旧愛知県第二尋常中学校講堂/旧本多忠次邸/
旧愛知県岡崎師範学校武道場/旧石原家住宅
西尾市……実相寺
豊田市……名鉄三河線旧三河広瀬駅
豊川市……トヨテック本社社屋/
旧豊川電話装荷線輪用橋
新城市……大野首美術珈琲鳳来館(旧大野銀行)
半田市……小栗家住宅
知多市……木綿蔵ちた/知多岡田簡易郵便局

特別公開

国登録有形文化財

写真: 日本福音ルーテル復活教会

滋賀県のNPO 法人ヴォーリズ建築保存再生運動一粒の会の石井和浩氏による建物解説の様子

～特別公開の様子を写真でご紹介～

◆10月26日（日）～尾張地方～

初日は尾張地方から。登録有形文化財の件数が最も多い犬山市を中心に、清須市、一宮市の登録有形文化財を含めて11箇所を実施しました。犬山城下町では複数の文化財を回られている方の姿も目立ちました。



普段非公開の茶室をご案内(大島家住宅)



建築士による建物の案内と解説(堀部家住宅)



応接間で所有者による解説(柴田家住宅)



建築士より本堂の解説と案内(荒光邸)



明治村職員の案内で森越外・夏目漱石住宅を見学(明治村)



所有者の案内で離れと庭を見学(吉野家住宅)

◆11月3日（月・祝）～名古屋～

東区主催の「歩こう！文化のみち」イベントと同日に開催し広報などで連携し実施しました。東区を含めて市内5区12箇所の登録有形文化財で実施し、尾張地方に参加いただいたリピーターの姿も見られました。



所有者による文化財・建物解説
(左)とお囃子・唄のもてなし(右)
(寛家住宅)



専門家による普段非公開箇所の解説
(名古屋陶磁器会館)



外階段から展望台へ
(名古屋テレビ塔)



所有者より建物外観の解説(中濱家住宅)



欄間のデザインに関心する参加者(東山荘)



所有者から来場者へご挨拶(棚橋家住宅)

◆11月9日（日）～三河地方他～

個人住宅から教育施設、寺院や駅舎、櫓など、個性豊かな登録有形文化財 14 箇所で開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、県外からお越しいただいたり、3 日間すべてにご来場いただいた方もみえました。



建築士による解説(岡崎信用金庫資料館)



ご住職より本堂の案内と解説(實相寺)



旧日本多忠次邸サポーターによる建物案内
(旧日本多忠次邸)



所有者のお話を伺う参加者
(左)と櫓外観(右)
(旧豊川電話装荷線輪用櫓)



建築士による建物案内(八丁味噌本社事務所)



建築士による解説(トコテック本社社屋)

*子どもガイド ～旧石原家住宅（岡崎市）～

岡崎市の旧石原家住宅では、旧石原家住宅について学んだこども達 14 名が建物を案内しました。10 時のガイド開始時間とお客さんが続々来場。こども達は、「旧石原家住宅の歴史」、昔の人の知恵が詰まった「扉のしかけ」、一見すると見落としてしまう「かくし階段」、昔の暮らしを伝える「かまど」、「井戸とお風呂」の 5 箇所についてガイドしました。学んだ内容を一生懸命伝えるこども達の姿に来場者も関心している様子でした。

ガイド終了後、こども達からは、「緊張したけどまたやりたい」「大人の人から教わることも多かった」「説明をじっくりきいてもらえて嬉しかった」といった感想が聞かれました。



2 時間で 85 名の方が
来場(主屋玄関前)



現在も使用できる井戸を案内



所有者及び建物解説者からの感想

(所)＝所有者
(専)＝専門家

- ・地域で認知されることが重要だと実感。案内を通じて一層愛着が湧いた。(所)
- ・購入当初は古い建物で何も思っていなかったが、文化財に登録され今回の公開に接し、貴重な産業遺産ということを改めて痛感。大切に使って後世に残したい。(所)
- ・もっと大勢の人に訪問してほしい。登文会で事前に宣伝を。(所)
- ・市単独で個人所有を含めた一斉公開は不可能だが、今回のように専門家に各登録文化財を解説いただくことで実施が可能となり、新たな方向性を感じた。(所)
- ・参加者の多くが年配。若者を取り込む仕掛けも必要。(専)
- ・定期的な開催でファンを増やし、良い行事だと社会に定着させることが必要。(専)
- ・興味深く真剣に解説を聞いていただけた。思った以上に建物を知りたい要求があることもわかった。(専)

スタンプラリーも同時開催！

特別公開の3 日間で回った登録有形文化財の数に応じて、抽選で景品をプレゼントするスタンプラリーイベントも実施しました。最も多く集められた方は 18 個でした！



応募いただいた台紙▲
(約 150 通ご応募いただきました！)

2 事業実施報告「こども文化財ガイド事業」(2014年度)

「こども文化財ガイド事業」は、地域の文化財建造物について学び、魅力を体験し、その成果をこども達自身の言葉で来訪者にガイドすることで、こども自身が地域文化への関心を高めることを目的に、平成 24 年度より実施しています。全 3 回の連続講座で、最終日は実際に子ども達が登録文化財をガイドするプログラムです。今年度は岡崎市の旧石原家住宅で実施しました。

旧石原家住宅（岡崎市）

旧石原家住宅は、江戸時代の安政 6 年（1859）に石原家 4 代目石原東十郎氏によって建てられ、かつてはお米やお金を扱う商家で、庄屋や戸長をまかされた家柄です。木造 2 階建、玄関土間、勝手土間の他 6 部屋を有し、北面には太格子や出格子を並べた町家らしい構えをつくっています。

講座 1 日目は、旧石原家住宅周辺をまち歩きし、まちと石原家住宅の関係を知るところから始めました。まち歩き後は、旧石原家住宅の建物の特徴や昔の日本の暮らしなどを講師や所有者からお話を聞き、こども達からは一番興味をもったところ、疑問に感じたところを発表してもらいました。2 日目は、オリジナルテキストを使って 3 日目のガイド本番で案内する箇所をイメージしながら石原家住宅の歴史や建物の特徴を学び、どんなことを伝えたいのか、どうやって伝えるのかなどを検討しました。3 日目のガイド本番は、特別公開事業の日にあわせて実施しました。講師、所有者を中心に、旧石原家住宅を考える活動グループ「つぎいち」メンバーのサポートのもと進められました。



開催日時	テーマ	参加者
1 日目: 10/19(日)	旧石原家住宅の魅力を体験しよう！まち歩きと建物見学	幼稚園～小学生 16 名
2 日目: 11/2(日)	どんなふうにガイドするのかを考えよう！テキストを参考に学ぶ	幼稚園～小学生 14 名
3 日目: 11/9(日)	さあ本番、旧石原家住宅の魅力を伝えよう！ガイド本番	幼稚園～小学生 14 名



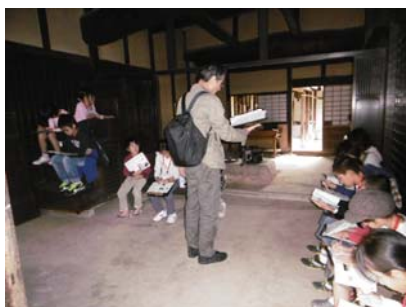
旧石原家周辺をまち歩き（1 日目）



主屋の見学（1 日目）



こども達からの発表とまとめ（1 日目）



テキストを使って学ぶ（2 日目）



ガイドを担当する場所で予行演習（2 日目）



オリジナルテキスト「虎の巻」

編集後記

「愛知登文会特別公開」事業は、当会として初の試みでした。試行錯誤しながら、所有者や専門家、参加頂いた皆様のご支援ご協力のお陰で無事に実施することができました。初めて取り組んだこともあり、周知方法をはじめ様々な課題も浮かび上がりました。貴重なご意見や課題は今後実施する際の参考にさせていただきます。ご協力いただいた皆様に改めて感謝を申し上げます。

次号は春頃の発行を予定しております。会へのご意見もお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

愛知登文会ニュース 第 10 号

発行日：平成 27 年 2 月 9 日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目 10 番 3 号
(一財)名古屋陶磁器会館内

TEL 052-935-7841 FAX 052-935-9592

E-mail info@aichi-tobunkai.org

URL <http://www.aichi-tobunkai.org>

FB <http://www.facebook.com/aichi.tobunkai>